

「福島大学うつくしまふくしま未来支援センター」を通じた復興支援活動のご報告

エスエス製薬株式会社は、「福島大学うつくしまふくしま未来支援センター」に、活動支援金として5,000万円を、また当社製品（約2億7,500万円相当）を提供させていただきましたのでご報告いたします。

支援金を活用した具体的な活動内容は、「健康と元気」をテーマに同センターが決定していきます。また、当社工場が稼働していた浪江町をはじめ、広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、葛尾村で仮設住宅等へ入居されている皆様を中心に、福島大学や双葉地方の自治体を通じ各種風邪薬やビタミン剤、薬用ハンドジェル等の当社製品を支援製品としてご提供させていただいております。

当初、当社が製造・販売する「エスカップ」の売り上げの一部を同大学に復興支援金としてご提供する予定でしたが、被災をされた方々の“現在”のニーズにお応えするための支援を福島大学と検討した結果、改めて活動支援金と当社製品の組み合わせという形でのサポートをさせていただくこととなりました。

なお、当社が支援する「福島大学うつくしまふくしま未来支援センター」は、福島大学が現有する環境関連分野、地域政策・産業関連、教育・心理学関連などの分野に、新たに産業復興関連、放射線関連、エネルギー関連分野の専門家等を加えた、大学付置の支援センターです。大地震・津波および原発事故による災害の実態を調査・研究し、それらの成果を元に福島県や関係自治体等と協力しながら、被災者の生活再建支援、子ども支援、若者自立支援とともに、新しい地域づくりのビジョンと方策を提案する役割を担う活動をしています。

この活動に「エスカップ」の購入を通じご協力いただいた皆様には改めまして御礼を申し上げます。社員一同、「福島大学うつくしまふくしま未来支援センター」による活動が、被災地域の皆様のお力となることを願うとともに、被災地域の復興と地域の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

“福島支援メッセージ付きボトル”は、現在店頭に陳列されているものを含め、全てが上記支援対象に含まれております。

2012年04月02日

エスエス製薬株式会社



福島大学入戸野修学長（左）と当社代表取締役会長兼社長鳥居正男（右）



福島県内の仮設住宅にて